

令和6年度第2回子ども・子育て会議議事録

開催日時	令和6年11月15日（金）18時30分から20時まで		
開催場所	辰野町役場 大会議室		
出席者数	22人 【委員】 11人 ※敬称略、順不同 林 まどか PTA連合会長 三澤 洋之 平出保育園保護者代表 倉科 正豊 聖ヨゼフ幼稚園長 大井田 由佳 学童クラブ保護者会長 石川 恵美子 主任児童委員代表 ※代理 佐藤 幸子 信州豊南短期大学 幼児教育学科教授 小林 テル子 町議会 福祉教育常任委員長 有井 直美 学童クラブ支援員代表 有賀 美智代 保育園長代表 鈴木 亜紀子 保育園主任代表 大久保 智恵 子育て支援センター長 （欠席者2人） 【事務局】 11人 武居町長、山田副町長 子育て応援課 高倉課長、高津、田中、井出、殿内、福島、野澤 学校支援課 小澤課長、宮原		
会議の公開	公開（傍聴できる）	傍聴者数	2人
配布資料	① 会議次第 ② 資料1 辰野町子ども・子育て支援事業計画【第3期】の策定に係るニーズ調査の結果について ③ 資料2 平出保育園、東部保育園統合の進め方について		
会議概要	1. 開会 2. 町長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 協議事項 (1) 辰野町子ども・子育て支援事業計画【第3期】の策定に係るニーズ調査の結果について 【事務局より 資料1説明】 ※資料1の説明については省略 ※補足部分のみ記載 ○ 【2-3. 子育てについての意識、悩みごと、相談先 ③子育てに関する相談先の有無】 相談先がないという方は未就学児で7.1%で、全体で13人いるんですけども、その中で相談先が欲しいという方は7名いらっしゃいました。それから就学児		

童の方で、相談先がないと言った方が 14.4%なんですけれど、これは 50 人にあたります。その中で相談先が欲しいという方は、24 名いらっしゃいました。その回答を見ますと、やはり「気軽に相談できる相談先が欲しい」、「行政ではなく民間での、格式の低いようなものが欲しい」、「電話で相談をしたい」というようなご意見がございました。

○ 【3. 子ども・子育て支援事業のニーズ量推計 ②家庭類型（未就学児）】

この潜在家庭類型というのは、就労希望を反映させた潜在的な家庭類型ということで、例えば今パートタイムで働いているけれども、将来はフルタイムで働きたいというような要望が、潜在家庭類型というものになってございます。

○ 【5. 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針 1. 辰野町こども計画（仮称）への統合を見据えた政策体系にする】

このこども計画は、令和7年度に策定をして、令和8年度から運用していくというかたちになります。こども計画は、第3期子ども・子育て支援事業計画をベースにした計画となりますけれども、こども計画はさらに扱う分野が広がるのが大きな特徴であります。具体的には、先ほど申し上げました若者支援だったり、少子化対策、それから子どもの貧困対策などが挙げられます。これらの施策を進めるための計画を今まで持っていなかったもので、それらを計画に盛り込むことが重要だと考えまして、来年度こども計画の策定を進めていきたいと思っております。現在も、特別な支援が必要なお子さんが増えていることや、現在はヤングケアラーの問題もあり、こういったこども計画の策定が必要ではないかというふうに思ったところであります。

【質疑応答】

<委員>

11 ページの、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針というところに、辰野町こども計画への統合を見据えた政策体系にするというようなことが書かれているんですけども、そのところが非常に分かりにくいのではないかなと思うわけです。それから、この会議自体は第3期の子ども・子育て支援事業計画を策定するという会議だと捉えていてよろしいのでしょうか？その辺りを教えてください。

<事務局>

この会議につきましては、委員のおっしゃる通り、この第3期の計画を作るということでやっていただいております。来年度については、そのこども計画についてこの会議の中で協議いただくというかたちになります。

今年度については、この第3期の分だけをやっていただくんですけども、ただこのこども計画というのが今回作っているものを包含した計画になっており、それをベースにした計画になるので、全然違うようなものを作ってしまうと、来年また変えなければいけないということになってしまうので、それを見据えて、こちらから素案を作らせていただきたいというかたちです。

なので、今回この策定方針で特に問題なければ、来年もう一回1月頃に会議を開催させていただきますが、その時にこちらからこの策定方針に基づいた素案を示させていただきますというふうに思っております。

<委員>

そうしますと、この会議のメンバーの方達は、来年度からはこの辰野町こども計

画にまで関わっていくというふうになるわけですか。

<事務局>

はい。

<委員>

部分的に、第2期との比較というのがいくつか挙がってきているわけですが、調査項目はほとんど第2期と第3期と同じような調査項目が多いというふうに見せていただきました。そうしたところから、第2期の時と第3期でどのように辰野町のアンケートの結果に変化があるのかという辺りはもう少し分析をしていただいた方がよろしいのではないかというふうに思いました。

<事務局>

今回こちらの報告書をまとめさせていただきましたが、あくまでも特徴的なところをピックアップさせていただいて、ニーズがより高いものを出しております。基本的にはこの結果を盛り込んだ計画になるんですが、ただ委員のおっしゃる通り、他にももっと細かいデータがありますので、それについてはまたまとまったところでお示しをさせていただきます。

(2) 平出保育園、東部保育園統合の進め方について

【事務局 資料2説明】

※資料2の説明については省略

※補足部分のみ記載

○ 【3. 平出保育園保護者会へ統合についての説明会での質疑応答】

説明会には14名の保護者の方にご参加いただき、4名の方から質問や意見をいただきました。統合に反対する意見はなく、統合を見越した要望や質問が出されました。

○ 【4. 統合に関する保護者アンケート結果】

保護者全員が説明会に参加していただけたわけではないこともあり、説明会后、全保護者を対象としたアンケート調査を実施しました。アンケート調査全体を見ても、統合に反対する意見はありませんでした。ご要望にはすぐに実施できるものもございますが、予算が必要なものもあり、すぐにお答えできるものばかりではありません。保護者の皆様のご要望にできる限り沿うよう検討を進めて参ります。

【質疑応答】

<委員>

前回の子ども・子育て会議以降、町の説明をして欲しいということで、先ほど説明がありました町の方より保護者説明会を開催していただきました。

それを踏まえてさらにアンケートを実施していただいたんですが、保護者説明会の中では、やはり保護者の皆さんから率直な意見は出しにくいというのもあって、アンケートの実施と別に、8月31日に保護者会として集会を開催しました。

そちらについては、参加者は12名ありまして、こちらも約半分以下、45%ぐらいの参加であったと思います。一応保護者の皆さんには、保護者集会で出た意見を少しまとめて、その中身を噛み砕いて、保護者会からの要望というかたちで、今回の子ども・子育て会議で話をしていきたいんだということを通知で出させていただきました。

実際に誰にとっても良いタイミングというのはなくて、どこの家庭も卒園したい。ただそうすると、これまた3年先、4年先、5年先ということになってしまうので、どこかでもう統合を見据えて、区切りをつけなければいけないのではないかとこの話をしてきました。本当に色々な問題や、皆様様々な家庭環境がある中ではありますけど、どこかで区切りをつけるために、一応保護者会としては、統合のスケジュールを、今の年中児が卒園をするタイミング、なので2年後の2026年の3月31日をもって統合というかたちで要望したいと思います。

<会長>

今時期的なところをお話していただいて、その時期に関して出た要望だとか、ご意見があるそうなので、それを続けて言っていただこうと思います。

<委員>

先ほどのアンケートの中でも、卒園したいとか、様々な意見はあるんですが、ここは安全面と施設の老朽化を踏まえ、少しでも早い方が良いのではないかとということで今のスケジュールになったんですが、やはり今回の統合で平出地区から東部の方に行くとなると、どうしてもちょっと色々なご苦労がさらに増えてしまう部分もありますので、さらに以下のことを併せて要望したいと思います。

先ほどのアンケートの中にもありましたけれど、通園の負担が大きくなるために、通園バスについて利用条件等を踏まえて整備をして欲しいです。この通園バスがどのくらい利用があるかは分からないんですが、その条件等も踏まえて、先ほど出た布団の問題とか、無償化の問題とかについて、整備をして欲しいなと思います。

2点目ですけど、現在の東部保育園の駐車場の出入り時に混雑が発生する状況があるということを伺いました。なので、そちらについては早急に整備をして欲しいです。

3点目と4点目は、ちょっと大きくなってしまいうんですけど、必ずしも平出保育園にいた園児が東部保育園に行くとは限らないため、現在各園で出ている設備の問題等を早めに対応して欲しいです。なので、安心して統合、他の園に行きたいということを要望します。

大きくなんですけど、今回の統合は、平出保育園と東部保育園だけの問題ではなく、町全体の問題と捉えて、先ほどのニーズ調査にもありましたけれど、子育てがしやすいまちづくりを積極的に進めて欲しいということ、保護者会としてはスケジュール等の要望と併せて要望したいと思います。

<子育て応援課長>

今四つ要望ございました。

まず1点目の通園バスにつきましては、利用は最近ではかなり少なくなっております。今はどちらかというと皆さん、親御さんが送ってきた時に、園の先生達と話したり、子どもの心配なことを話したり、様子などを伺ったりという機会を大事にしているようで、本当にバス利用が少ないです。

ですがこの間私も説明会に出まして、そういった要望がありましたし、今回統合ということもありますので、なるべく保護者の意見に沿うような検討をしていきたいと思います。

次に2点目ですが、保育園の駐車場ですね。園舎の裏の方に保護者の駐車場もあるんですが、玄関に近い方は先生達が停める駐車場です。まだ樋口区の方とは相談

してないんですが、旧樋口保育園の道の反対側にスペースがあるので、先生の数も多いものですから、できればそちらを先生達の駐車場にすることで、スペースを広げる対応をしていきたいと今考えているところです。

3点目の、各園に出ている設備の課題等ですが、年に1回保護者の協議会で各園を回って、お子さんが通う園以外の園もみんなで見えるような機会を作っておりまして、そこでも要望が出ておりますので、その辺とも考慮しながらというか、優先順位つけながら、順に対応していきたいと思います。

4点目の部分につきましても、今回の統合は町全体の問題ということですが、当然これから少子化が進んでいきますので、問題は本当に大きいですが、また整備計画等ありますので、そちらと合わせて考えながら対応していきたいと思います。子育てしやすいまちづくりということですが、子育て応援課もできましたので、みんな協力しながら、話し合いながら、進めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

<委員>

これまでこの会議は出ておりませんので、今までのことが十分にわかっているわけではありませんが、まず平出保育園の立地がやっぱり安全性にとっても欠けているという不安がすごく強かったので、もう統合ということが決まって、本当に私はできるだけ早くしていただきたいなというふうな思いがあります。

私も平出保育園で勤務したことがございますけれども、大雨が降るとどうしても子ども達のほとんどは信号を渡ってこなければいけないんですが、そばに川がありまして、凄い音と共に凄い流れなんですよね。大人が覗いてみても、ちょっと足がすくむような思いがすることがよくありました。また今大雨の例を挙げているわけですが、上野川の水が、職員の駐車場から園庭の方に向かって凄く流れてくるんですよね。そこにまた上野の方と山の方から来たゴミとかも凄くて、その片付けをしながら、子どもの命を守るっていうのが私達の大前提であるんですけれども、これを守るって本当に大変なことだなと、祈るような気持ちで、どうか何事ありませんようにと思いながら過ごしたことを思い出しました。そんなことを思って、少しでも早く移行ができると良いなと思っております。

<委員>

平出保育園に自分も勤務させていただいていたんですけれども、災害が起きた時に子どもの命を守るって凄く大事なことなんです、あの場所は立地条件と言い施設と言い、というところが、もう本当に何年も前からの保育士達も心配に思ってきたところです。そしてまた地域の方達の、地域に保育園が欲しいという気持ちも、会合でも話をさせていただいて、それを感じながら進めてきていたなというのを今改めて思い返していました。やっぱり子どもの安全が第一というところが、私達保育士が働く上では一番なので、こうやって決まっていくのがとてもありがたいなと思っております。

これも全体のことなんですけれども、保育士は毎日子どもと向き合っております。年々やっぱり少子化も進んできていますし、子どもも変わってきているなということを感じています。安全が一番なので、そこを飛び出してしまう子達とかに、お話をするんだけど、やっぱり段々子どもが低年齢化してきているというのを凄く感じています。

見る人数とかもあるかなと思うんですけど、少人数の良い面もあるし、多くなっても良い面もあるので、多いところでまた伸びる子達を見ながら、後ろからちょっとついていけない子達を見る、みたいなかたちができたら良いかなと思います。統合してまたきっと人数が多くなっても、そういう職員体制ができれば良いなというふうに感じております。

交流していても、子ども達は凄く楽しいというのがあるので、子ども達って本当に柔軟性があるなと凄く思います。なので統合しても大丈夫かなということを感じています。またお子さん一人一人が違うと思いますので、丁寧に保育していけたらなと思っております。

<会長>

そうしましたら、皆様のご意見を踏まえまして、通園バスのことですか、駐車場のことですか、子育てしやすいまちづくりをといた要望の検討を進めた上で、おおよそ令和7年度で閉園ということで進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか？

特に意見ないようですので、そのように進めていただきたいと思います。

(3) その他

【事務局からはなし】

<委員>

平出保育園を2026年の3月で閉園にして統合していくということが方向性としては決められたというふうに思うわけですけど、それに向けて検討しなくてはいけないことというのが今日まで具体的には出てきておりませんので、やっぱりそうしたものをきちんと提示をしていただいて、そのためにはどんなことをやらなくてはいけないのか、そしてそういったものはやはりこの会議の場に提示していただいた方がよろしいのではないかというふうに思います。感覚で決定しますということではなくて、これとこのことをやって、2年後にここまできちんとできて、決定がされる、移行ができるんだというところを皆さんに示していただいて、安心して移行ができるようなかたちに、ぜひ具体的なことの提示を、今後はしていただけたらというふうに思います。

<子育て応援課長>

今日の資料の中でも保護者のアンケート等出てきますけれど、要望等では先ほどのバスですか、布団のこともありました。交流の機会を設けて欲しいということも前から言われていますし、中には、担任の先生もできれば今平出保育園にいる先生が東部保育園の方に行けば、園児も安心するんじゃないかという意見もいただいております。また今後保護者の方達と話す機会もあると思いますので、そちらと話し合いながら、この会でもその結果等や、先ほどの駐車場整備などの課題といったことも出しながら、一緒に進めて参りたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

5. その他

<事務局>

今後のスケジュールについて説明をさせていただきます。次回の第3回の子ども・子育て会議でございますが、1月の下旬に開催する予定でございます。また、それぞれ皆さんの方にはご通知申し上げますので、ご協力をお願いしたいと思います。

その時には計画の素案もお示しさせていただきますので、1月の下旬に会議があって、2月にパブリックコメントの実施という運びで進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

10. 閉会